

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
歯科衛生士専門課程	歯科衛生学科	夜・通信	53単位(新課程) 51単位(旧課程)	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 新課程(1年生)と旧課程(2、3年生)があります。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校1階にある図書室・教務室で一覧を保管し、外部から閲覧希望があった場合には、同じ図書室・教務室で開示している

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校1階にある図書室・教務室にて誰でも閲覧が可能となっている

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元三菱銀行勤務 現会社経営者	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	教育内容に対する 専門的な知見 経営計画の策定
非常勤	学校法人役員	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	組織運営体制への チェック機能・財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書の作成について 各授業科目については、毎年度教務会議により講義内容について検討し、改善した上で各教科担当の教員により作成を行っている また、授業計画書は全科目共通の項目(授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、講義内容、成績評価方法、教科書および参考書に関する事項)を記載することとしている。</p> <p>公表に係る取組について 翌年度の講義予定(授業計画)については、最低3ヵ月前に担当教員が作成し、講義開始前に学生に配布している。また、図書室の書架コーナー・講師室・教務室でも閲覧ができるようにしている。</p>	
授業計画書の公表方法	図書室・教務室で一覧表を保管し、外部から閲覧希望があった場合は、その場で開示している。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学則第15条において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。授業科目の試験（レポート等含む）により、成績評価を行なっている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>授業計画書（シラバス）において、各授業科目の成績評価基準等を掲載している。学業成績は授業科目を履修し授業科目ごとに行う試験（定期試験・実技試験など）によって評価される。</p> <p>本校では、各授業の評価を100点満点を基準として、優（100点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）の4種をもって表し、優・良・可を合格、不可を不合格としている。合格した者には所定の単位が与えられる。</p> <p>成績評価方法については、入学時に学生手帳を配布し、オリエンテーションで周知させている。図書室・講師室・教務室において誰でも閲覧できる。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>学生へは入学時に学生手帳を配布している。本校図書室、教務室で一覧表を保管し、外部から閲覧希望があった場合はその場で開示している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校は、即戦力となる専門職の養成を掲げ、現場主義の教育を実施し、社会に貢献することを目的としている。

卒業の認定については、本校の課程を修了し、所定学科目の全単位修得者について卒業審査会で審査を行い、卒業認定がおりた者には、卒業証書を授与することを認めている。詳細については学則、生徒手帳に記載しており、各学年のオリエンテーションで説明を行なっている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生へは入学時に学生手帳を配布している。また、図書室、講師室、教務室で誰でも閲覧が可能となっている。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月中に閲覧用ファイルにて最新情報を学内で公開している。
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		歯科衛生士専門課程	歯科衛生学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	118単位（新課程1年生） 120単位（旧課程2、3年）	88(新)/90(旧) 単位	単位時間/単位	30(新)/30(旧) 単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		193人	0人	8人	1人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3、1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3、3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3、4を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>授業により、講義内容のまとめのプリントやミニテストなど随時行っている。また、試験前などには学びの時間を設け、専任教員などへの相談や自己学習の時間に充てている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	32人 (76.2%)	10人 (23.8%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 夏休み前にアンケートを実施し、希望就職先を確認。また、就職ガイダンスも同時に実施し、就職活動における注意事項を確認した。また、歯科医院や卒業生による歯科医院の紹介も実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家資格取得 医療事務管理士（歯科）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
180人	13人	7.2%
(中途退学の主な理由) 学業不振、体調不良、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本校では、3年の修業年限のうち1年次の中退者の割合が高いため、入学してから夏休み前までに担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、遅刻、欠席回数が多い学生には、早い段階でご家庭へご連絡し、保護者を含めて面談を実施するなど、連携を密にとり中退防止の対策をとっている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生	300,000 円	550,000 円	600,000 円	実習費、施設維持費、実習機 材費等を含む
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度の評価書類を閲覧用に 1 冊にまとめ、図書室で誰もが閲覧できる状態にしている。外部から閲覧希望があった場合は、誰でも図書室で閲覧が可能。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として関係企業、本校卒業生などを含んでいる評議員会が、それぞれの知見を活かし、学校が主導して実施した評価や改善策について評価を行っている。評価内容については、教務委員会、理事会などで報告および情報共有を行い、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
教育研修企業 役員	2024. 4. 1～2027. 3. 31	企業
大学教員 2名	2024. 4. 1～2025. 3. 31	学識経験者
歯科医院	2024. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生
児童福祉職員 3名	2024. 4. 1～2027. 3. 31	教育従事者
塾講師	2024. 4. 1～2027. 3. 31	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度の評価書類を閲覧用に 1 冊にまとめ、図書室で誰もが閲覧できる状態にしている。外部から閲覧希望があった場合は、誰でも図書室で閲覧が可能。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://apollogakuen.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113311400148
学校名 (〇〇大学 等)	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人アポロ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		23人	19人	24人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	11人	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				24人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	-		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。